

2025/2/12

# プロジェクト演習発表

上野快倭 大森舞 小畠楓矢 坂本月美 西川蒼一郎  
新田文音 山田絵美佳 呉佳臻 姜在俊

**01** プロジェクトの目的

**02** Dig Sportsでの活動

**03** アンケート分析

**04** 考察・まとめ

# 01

## プロジェクトの目的

# プロジェクトの目的

---

女子大学生のスポーツ実施率の向上

# プロジェクトの目的

## <愛媛県>

成人の週一日以上の「スポーツ実施率」

令和4年度：56.3% → 令和5年度：46.4% **9.9%低**

## <令和5年度>

年代別【週1日以上】女性のスポーツ実施率

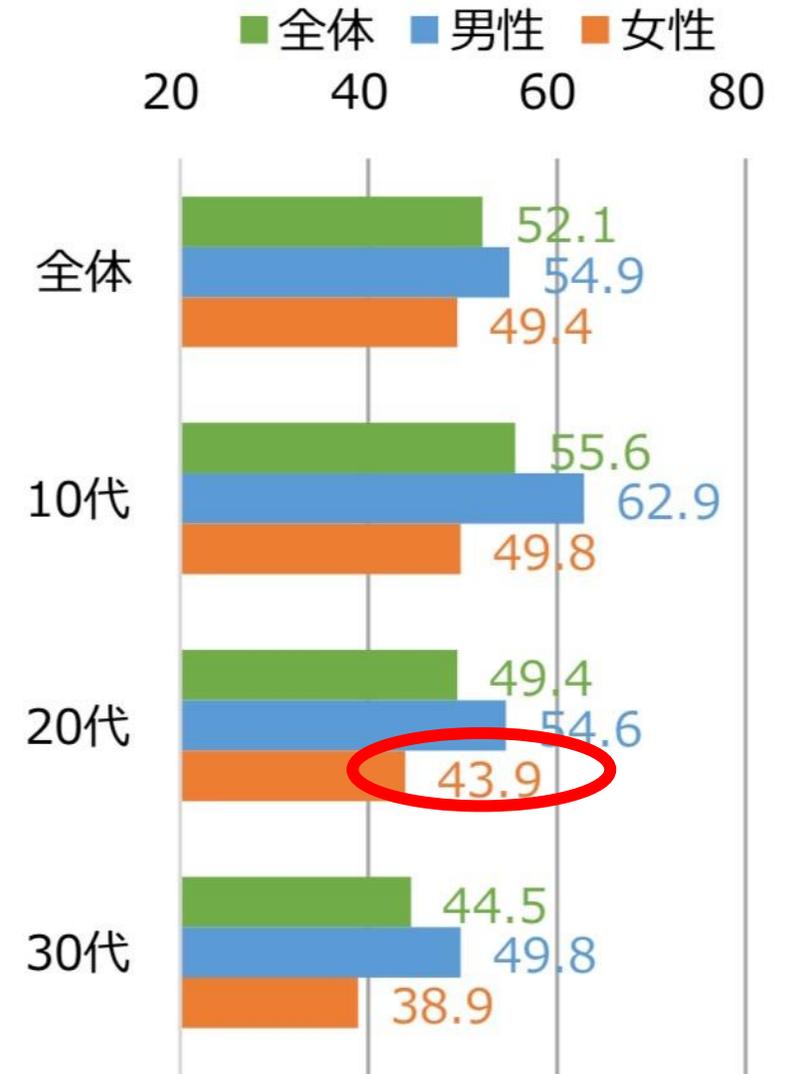
全国平均：20代→43.9% 30代→38.9%

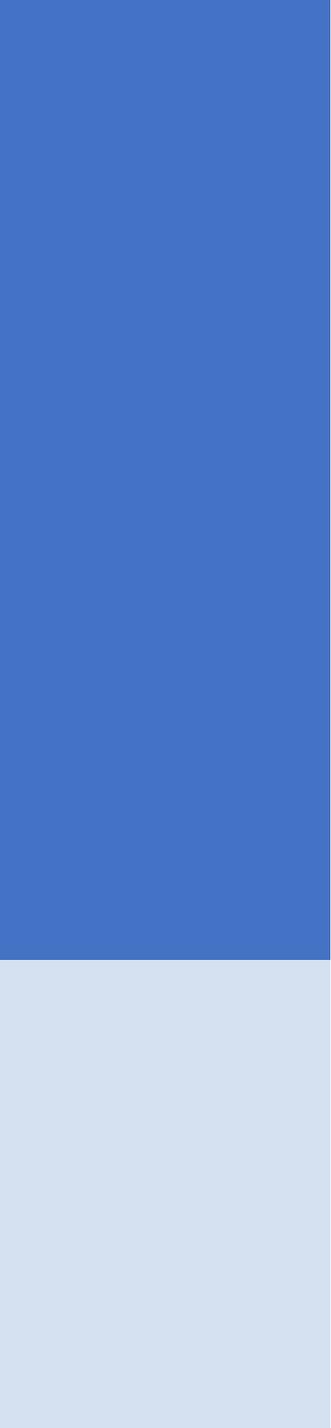
**↓10%以下**

愛媛県の平均：20代→33.8% 30代→27.8%

→重点的にスポーツ実施に促す取り組みが必要

①年代別【週1日以上】  
スポーツ実施率の比較 (%)

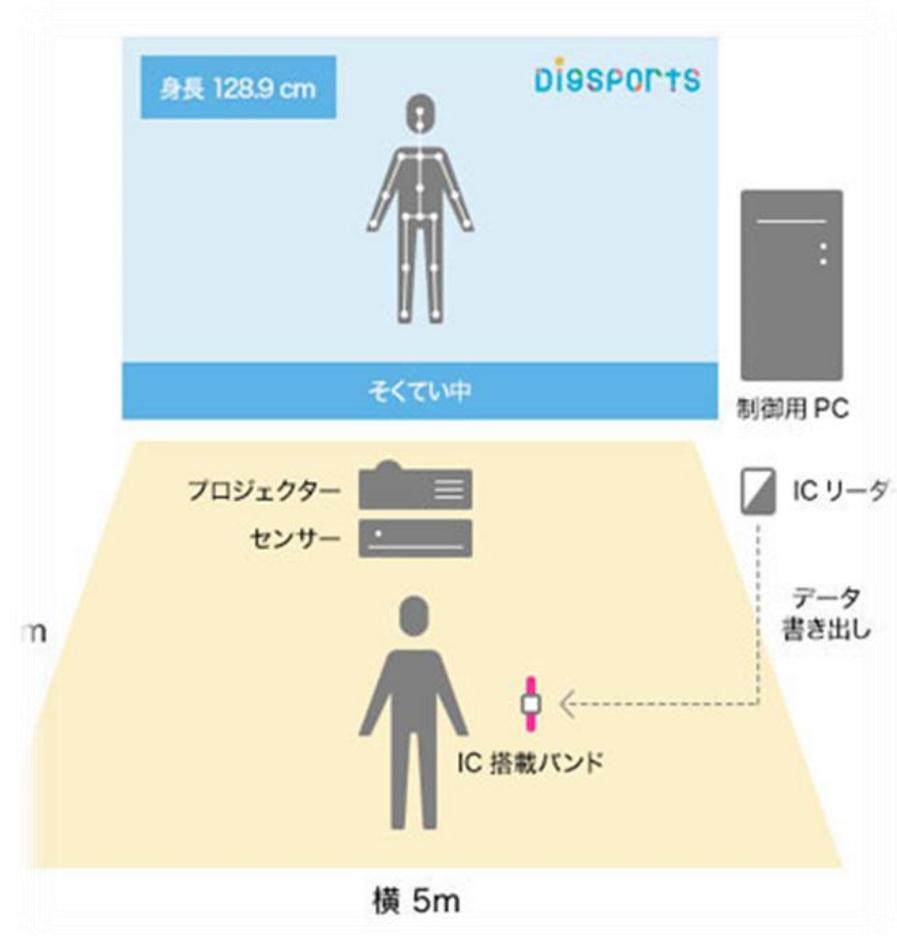




# 02

## Dig Sportsでの活動

# Dig Sportsとは？

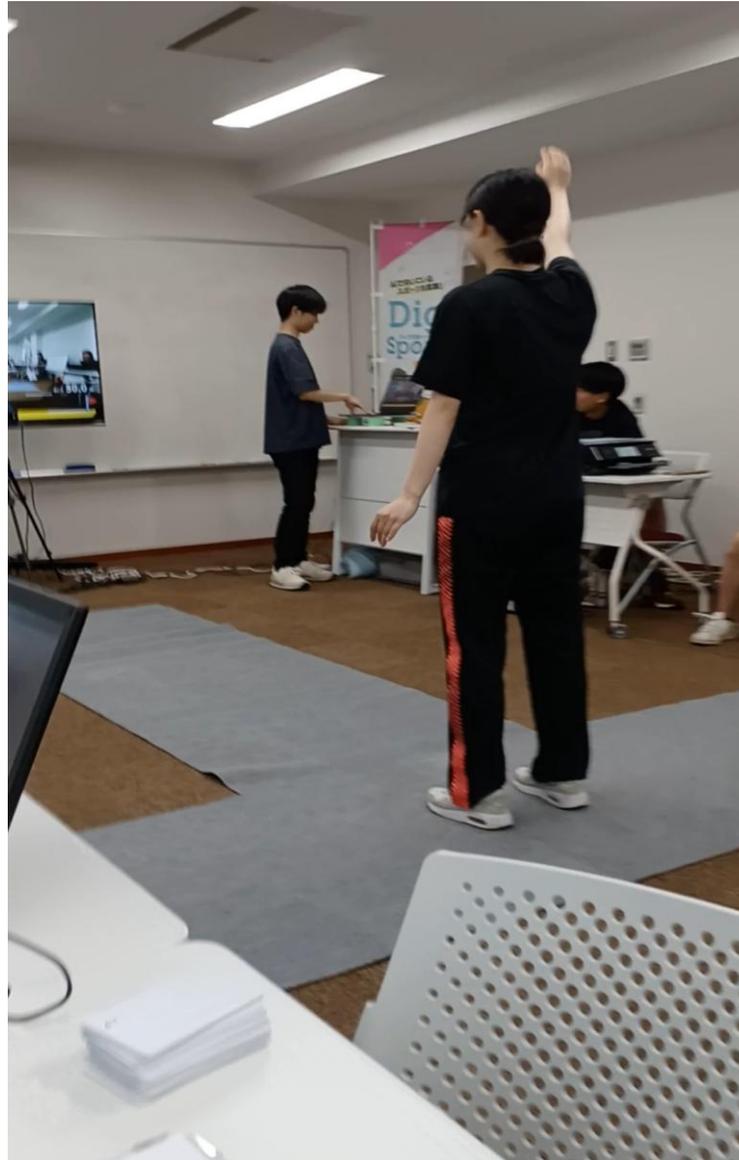


5m × 5mの範囲でカメラとAIを用いて測定

→約180種あるスポーツの中から3種をAIが提案

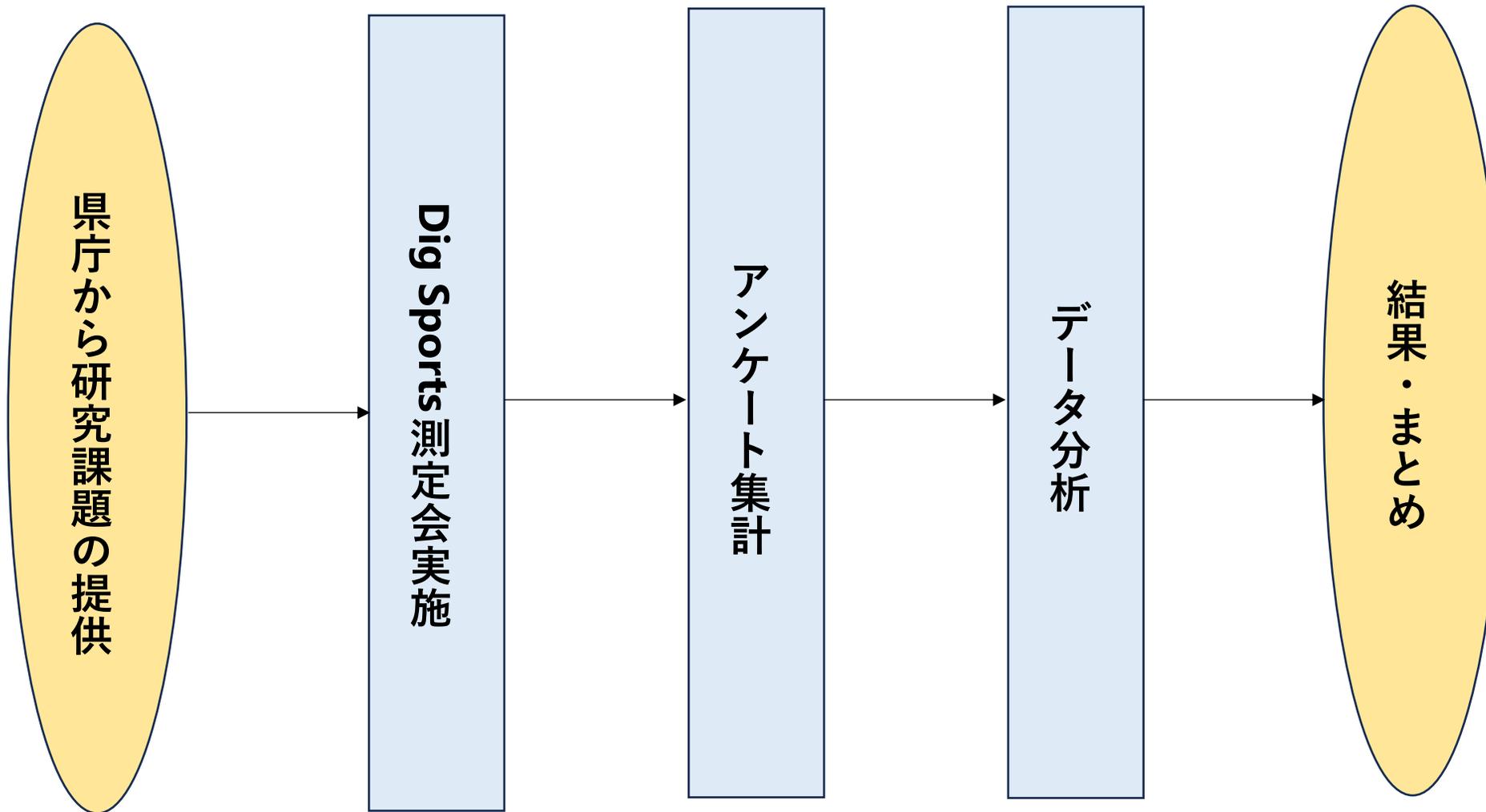
自分に向いているスポーツを知ることができる

# Dig Sportsとは？



実際の様子  
(50m走)

# 研究の流れ図



# アンケートの経緯

若者のスポーツ離れ（女性）

県庁

愛媛大学

Dig Sportsを1つの手法として  
スポーツ離れを阻止しよう！！

ディスカッション

アンケート

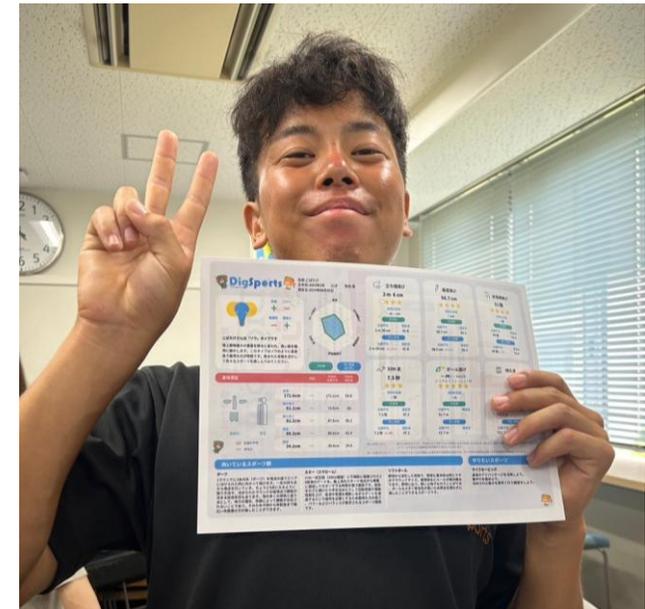
→ **スポーツ参加障壁とス  
ポーツイベントに求められ  
ていることを明らかにする**

Dig Sports + サポート

→ **スポーツ実施率向上**

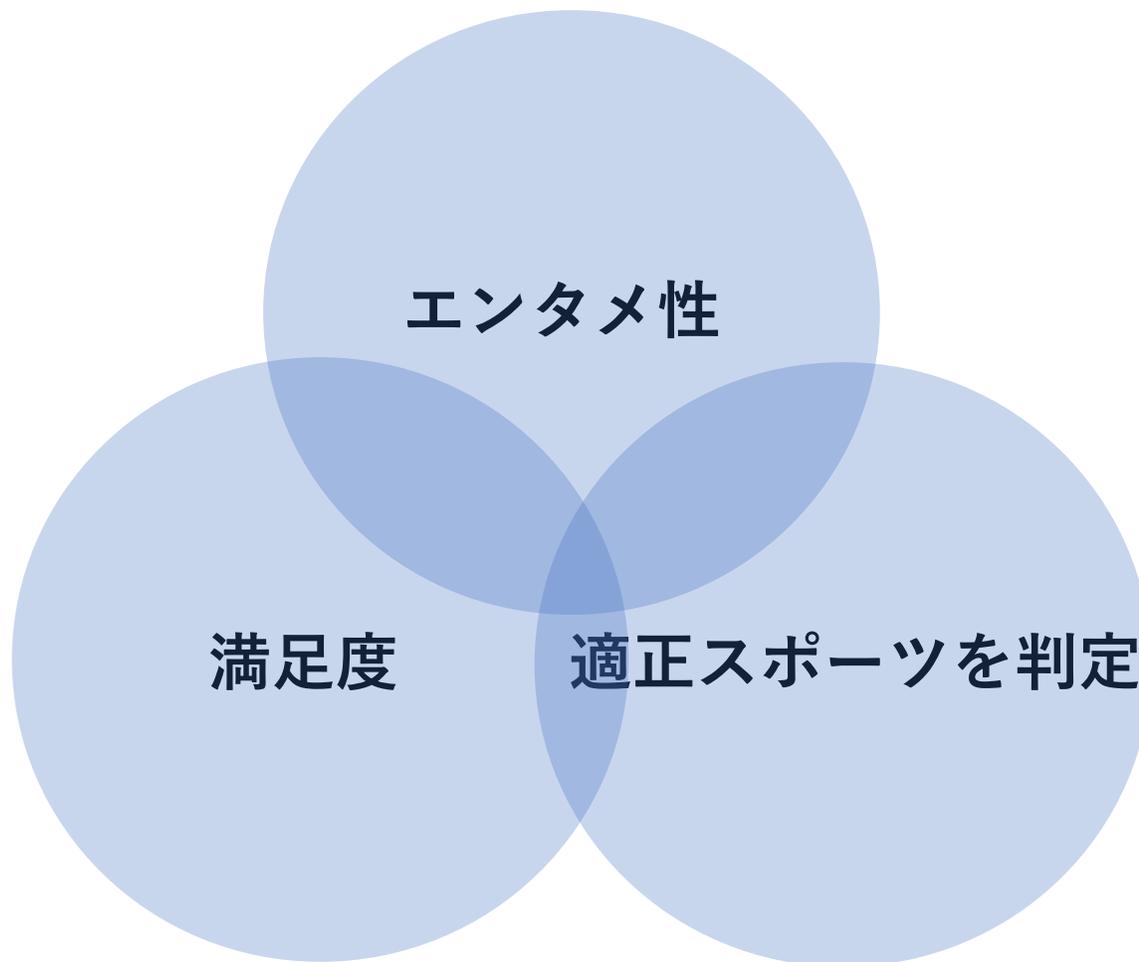
# 測定会当日

- **日時**：8月5日(水)10:00~17:00 (15分あたり2人)
- **場所**：社会共創学部棟LC2
- **参加者**：愛媛大学の学生(計56名)
- **活動内容**：会場運営  
(受付、測定補助、結果用紙の受け渡しなど)



# Dig Sportsの成果から

成果



運動を始める導入として価値の高いイベント

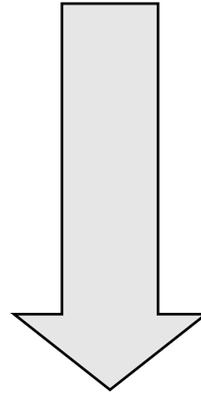
# 03

## アンケート分析

# アンケートの目的

## 目的

スポーツ及びスポーツイベントの参加障壁とニーズの調査



1. 定量的な観点による参加障壁やニーズの把握
2. ニーズに即したDig Sportsの活用方法の考案

# 調査概要

- **対象者**

愛媛大学女子学生101名（運動習慣あり44名、運動習慣なし57名）

- **調査方法**

オンラインアンケート（Google Forms利用 10/1～10/7,11/28～12/3）

- **質問内容**

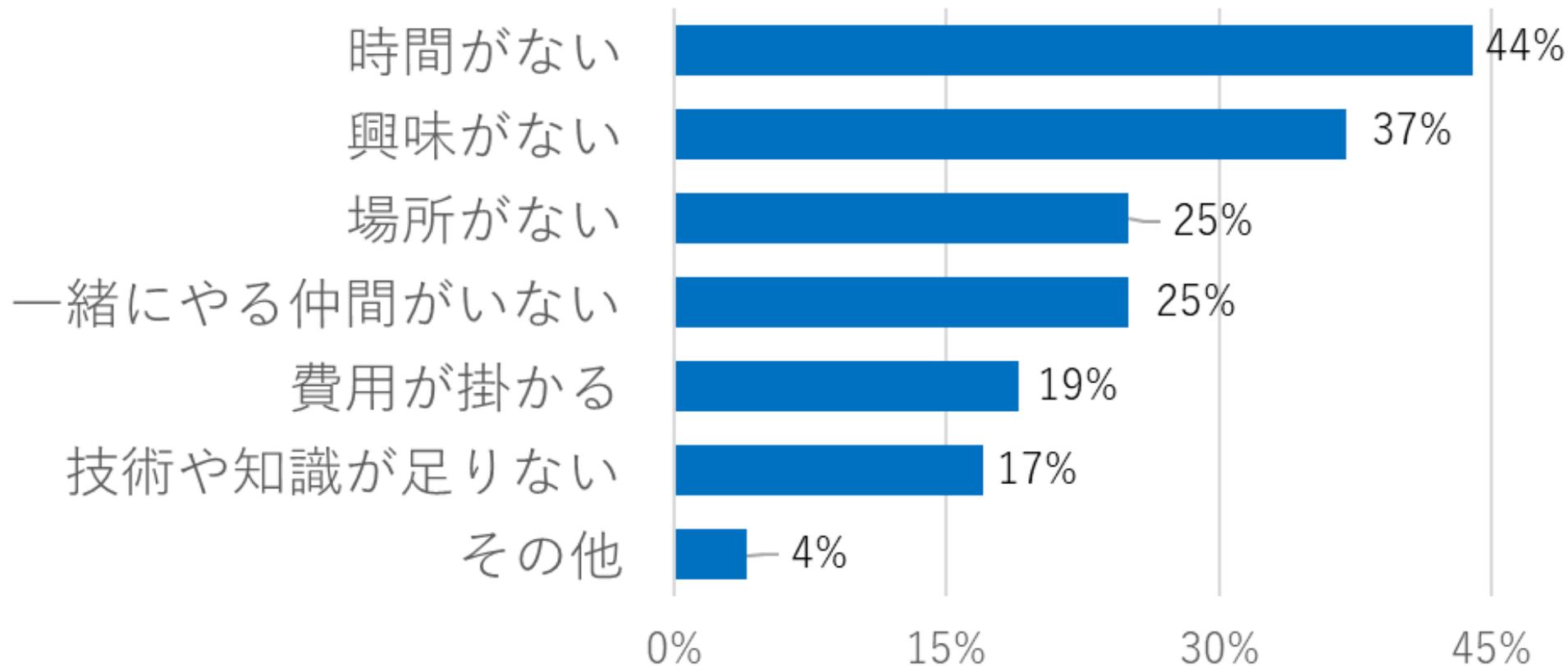
スポーツ及びスポーツイベントの参加障壁とニーズ調査

- **主要な分析手法**

記述統計、クロス集計、因子分析、クラスタリング

# スポーツを始めるに至らない理由（3つ選択）

## スポーツを始めるに至らない理由



この時点では選択肢の意味合いがまだはっきりしない

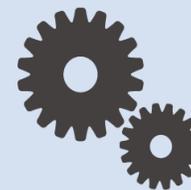
# スポーツ参加障壁のグループ分け



心理的制約 **73%**

---

時間がない  
興味がない  
一緒にやる仲間がない



資源的制約 **27%**

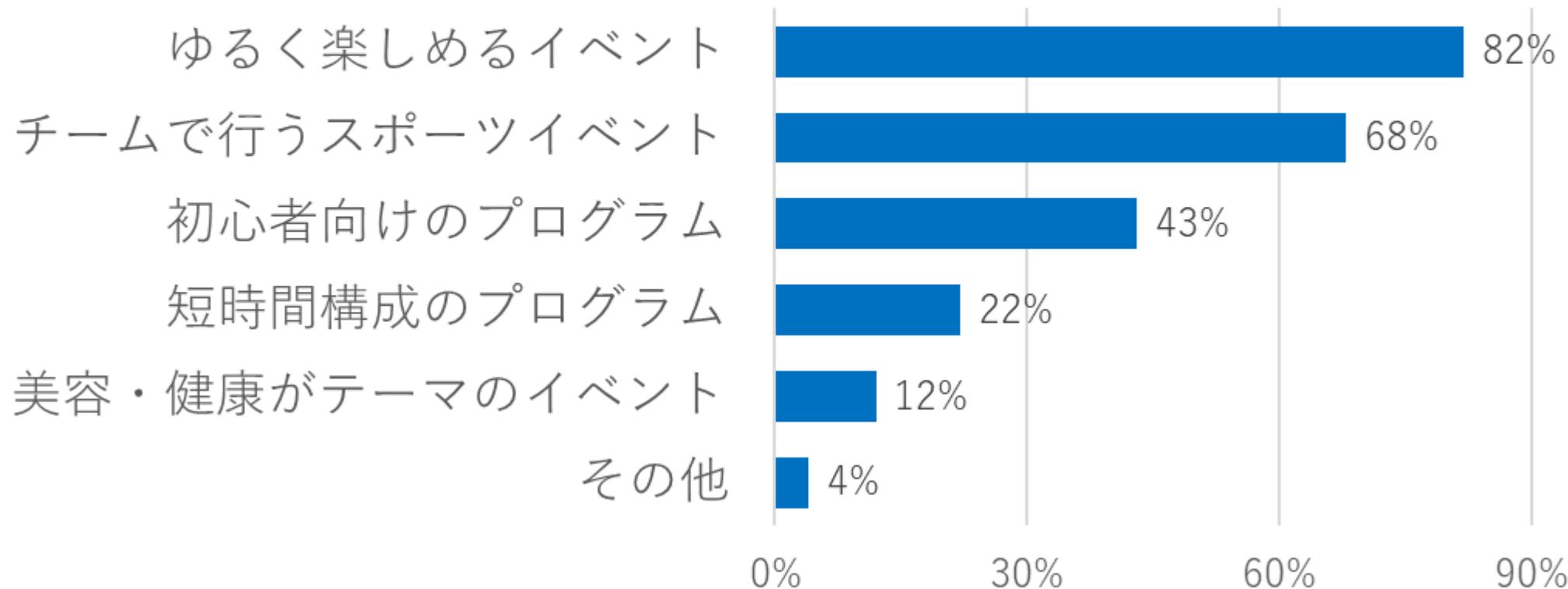
---

場所がない  
費用がない  
技術や知識が足りない

**心理的制約が主要なスポーツ参加障壁**

# 参加しやすいスポーツイベント（複数選択可）

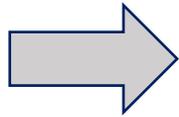
## 参加しやすいスポーツイベント



「チーム」かつ「ゆるく楽しめる」イベントが望まれている

# アンケート結果より

心理的制約に障壁を感じている人が**約7割**

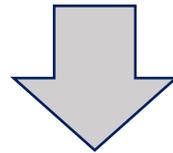


**『ゆるく』楽しめる！  
コミュニティの形成が重要！**

理想

結果から

他のエンターテインメントや活動と比べた際の心理的な敷居の高さがスポーツの優先順位の低下につながり、実施率の促進を阻害している。



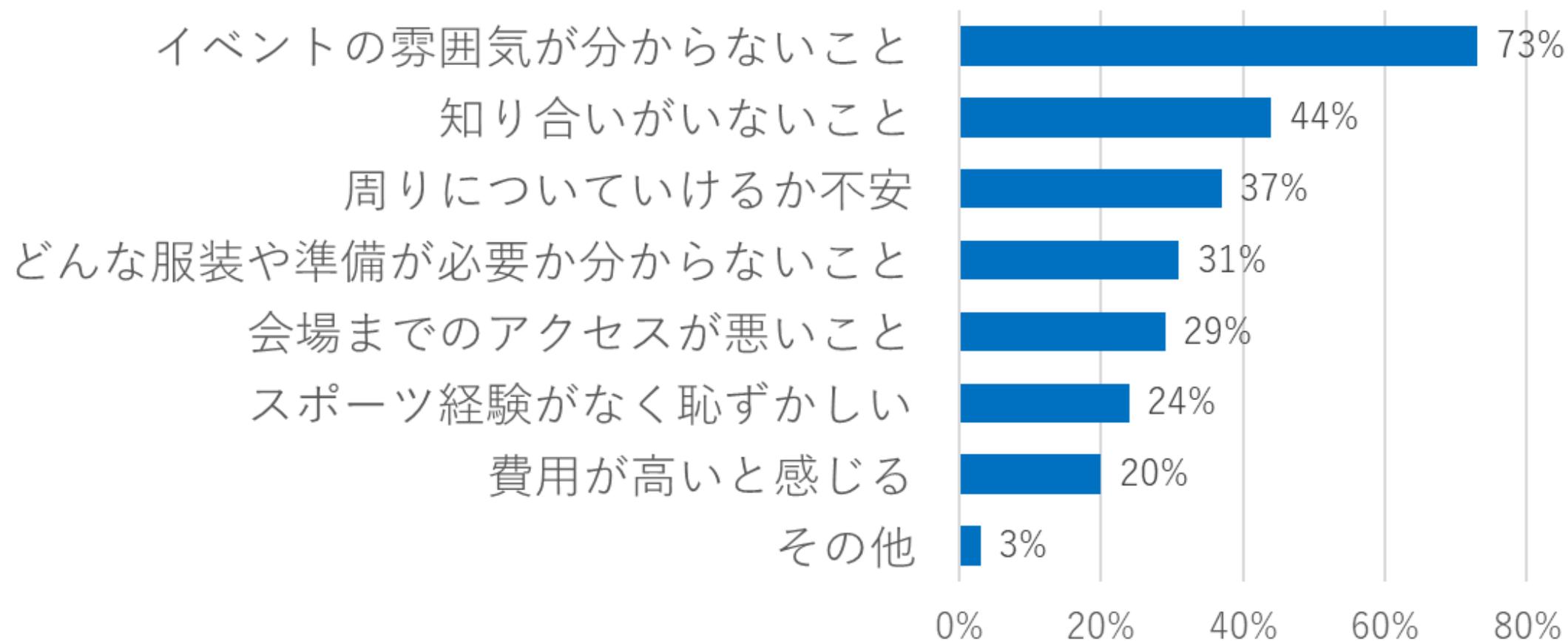
女子大学生には**『気軽さ』**が求められている！

# 04

考察・まとめ

# スポーツイベント参加障壁・不安（複数選択可）

## スポーツイベント参加障壁・不安

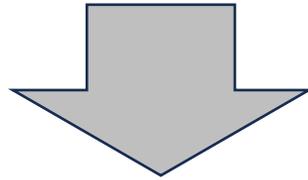


具体的に正しく情報開示をする必要性がある

# スポーツイベントの課題点と展望

イベントを企画するにあたって重要なことは・・・

**具体的な情報発信**  
**同一イベントの継続的な実施**

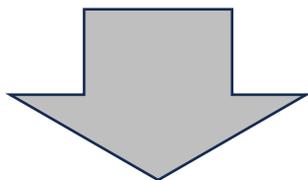


心理的制約の緩和

# Dig Sportsの課題点と展望

イベントとして用いる際の課題点とは・・・

## 参加に至るまでの心理的障壁



現段階では  
他のスポーツイベントと併用するのが効果が高い

# 謝辞

本プロジェクトにご協力いただきました

愛媛県庁 地域スポーツ課

和田 英夫様 山内 和弥様 渡邊 ゆみえ様

DigSports測定会を監修していただきました

株式会社 イーエーシー 様

DigSports測定会に参加していただいた56名の方  
アンケートに回答していただいた方

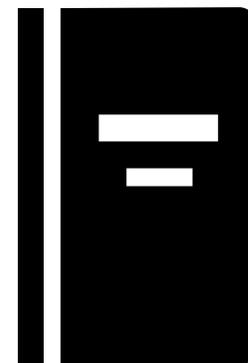
発表・研究のアドバイスをしていただいた 梅本 様



**本当にありがとうございました。**

# 出典

---



第2期愛媛県スポーツ推進計画

<https://www.pref.ehime.jp/page/9111.html>

スポーツ庁（2024）令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/toukei/chousa04/sports/1415963\\_00012.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/sports/1415963_00012.htm)（令和5年1月28日時点）

<https://mfg.dentsusoken.com/feature/health/ai-sports.php>

ご清聴ありがとうございました。

Thank you for listening.